

青野原

【発行】
防衛協会青野原会
駐屯地連合会
青 桜 会
【印刷】
(株)前田精版印刷

駐屯地司令要望事項
地域と共にある駐屯地
群長統率方針
任務の完遂
群長要望事項
なすべきことをなせ

青野原駐屯地HP



新隊員教育ブログ
はじめました

自衛官候補生課程入隊式

自候生44名 元氣溢れる宣誓

第8高射特科群は4月6日、教育隊教場において、「令和2年度自衛官候補生課程入隊式」を挙行した。式は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、国会議員をはじめとする各市町・協力団体の皆様及び自衛官候補生（以下「自候生」）のご家族に自候生の晴れ姿を直接ご覧いただけなかったが、真新しい紫紺色の制服に身を包んだ44名の自候生を、駐屯地各部隊長が温かく見守る中、厳粛に挙行された。式の中では自候生代表が「申告」、次いで自候生全員による力強く元氣溢れる「宣誓」を行い、自衛官となるための新たな一歩を踏み出した。

第8高射特科群長 押川1佐は式辞として「目標を確立し、積極的に教育に臨め」「同期の絆を大切にせよ」の2点を要望するとともに、「約3か月間は、諸官の人生において二度と通ることのない唯一無二の『今日』という日の連続になります。最初は戸惑うことも多いと思いますが、失敗を恐れず、前向きにしっかりと教育に励んで下さい。」と激励の言葉を贈った。



▲厳粛な雰囲気にもまれた式

約3カ月の教育がスタート!



▲同期44名との記念撮影



▲群長式辞



▲宣誓を読み上げる自候生

成人行事

（新成人）決意も新たに

駐屯地は1月9日、「駐屯地成人行事」を実施した。

新成人21名は、駐屯地司令をはじめ、ご来賓の方々の温かい激励の言葉に気を引き締めるとともに、新成人を代表して第302高射直接支援中隊の河原3曹が誓いの言葉を述べ、社会人としての自覚を新たにしました。



▲駐屯地連合会顧問(小林様)からの記念品贈呈

対空会顕彰状受賞者紹介

駐屯地は1月14日、駐屯地司令室において、丹波市防衛協会会長 石川憲幸様に対して、長年の功労を顕彰した。

石川会長は、平成22年に丹波市防衛協会を設立以来、防衛基盤の充実のため、平素から地域住民と自衛隊との架け橋となり、相互の理解促進と信頼醸成に尽力した功績により対空会会長(高射学校長 宮本将補)の代理として駐屯地司令から顕彰状が贈呈された。



▲顕彰状を受賞された石川様

新春互礼会



（新年最初の顔合わせ）



▲歓談の様子

防衛協会青野原駐屯地連合会は、1月16日、小野市うるおい交流館エクラにおいて「令和2年新春互礼会」を開催した。

地元選出の国会議員をはじめ、県議会議員、近隣市町長、市町議会議員、官公署、防衛協会、各種自衛隊協力会、青桜会など、約270名の来賓のご臨席を賜わり、盛大に行われた。

会は、駐屯地連合会長による挨拶、藤井比早之衆議院議員、加田裕之参議院議員による祝辞、蓬萊務小野市長の乾杯の発声で盛大に開会され、和やかな雰囲気の中、参加者は相互に親睦を深めた。

方面隊対空戦闘訓練

第8高射特科群は、2月10日から15日までの間、航空自衛隊小松基地、同入間基地、金沢駐屯地及び青野原駐屯地において「令和元年度方面隊対空戦闘訓練（総合訓練）」を担任・実施した。

空自中部航空方面隊の支援を得て、空自との防空作戦における連携要領、各師団・旅団高射特科部隊との協同戦闘要領、各射撃単位毎の対空戦闘等を演練し、対空作戦に関する任務遂行能力の向上を図った。



▲幕僚副長(防衛)視察



▲基地防空隊との防空作戦

駐屯地連合会総会

防衛協会青野原駐屯地連合会は、「令和元年度防衛協会青野原駐屯地連合会総会」を文書配布による決議で実施した。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、駐屯地での開催は実施できなかったが、5個議案について過半数を超える賛同をもって可決した。

野外行動訓練検閲

高い戦闘力を十分に発揮し

第8高射特科群は、本部管理中隊の指揮小隊（小隊長 二川1尉）、通信レ1ダ小隊（小隊長 伊藤3尉）、衛生小隊（小隊長 歌川2曹）、補給班（班長 太田3尉）及び第308高射搬送通信中隊（中隊長 延原1尉）に対し、青野ヶ原演習場、日本原演習場及び同周辺地域において、野外行動訓練検閲を実施し、一連の状況下での各級指揮官の指揮、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作について、その練度を確認した。

全国で猛威をふるった前日までの豪雨により、泥濘化した演習場は、隊員の歩行を阻害するのみならず、車両の運行にも支障をきたし、夜間の陣地進入は困難を極めたが、隊員は相互に連携し、任務の遂行に進んだ。

朝露が凍る早朝、警戒のため歩哨につく隊員は、「任務を達成するまで気持ちで負けないよう頑張ります」と力強く語った。本部管理中隊の各小隊、班及び第308高射搬送通信中隊は、昨年からの継続的に練成を続けて、積み上げた訓練成果を遺憾なく発揮し、誰一人欠けることなく任務を完了した。



▲負傷者の救護 本管中 衛生小隊



▲アンテナ建柱 308高搬通中 端局班



▲本管中隊長へ偵察結果の報告をする補給班長(左)



▲偵察補足命令を下達する308高搬通中隊長(中央)

優秀隊員

●本部管理中隊●

曹長 菊池 崇徳
2曹 歌川 賢二
2曹 山崎 良太
2曹 渡邊 大士
3曹 小野 智章
3曹 田本 隼
士長 秋山 勇雄
士長 寺田 和可菜

●第308高射搬送通信中隊●

2曹 藤田 琢也
3曹 岸田 真幸
3曹 中村 健太
士長 松田 直樹

南海トラフ地震発生を想定

駐屯地各部隊は2月17日から24日までの間、青野原駐屯地、守山駐屯地及び同周辺地域において中部方面隊が実施した「令和元年度方面隊災害対処演習」に参加した。本訓練では、災害派遣準備から同準備完了までの一連の行動及び災害派遣担任区にある関係機関との共同訓練を実施した。

派遣準備においては、災害にか

かる資・器材、携行糧食及び燃料等多数の物品を整齊円滑、至短時間

に車両に積載・準備し、災害にか

かる初動の迅速性を向上させた。

また、共同訓練として、8高特群は、加西警察署及びNEXCO西日本との部隊進出訓練を実施し、



▲携行糧食の車両積載



▲警察との共同訓練

方面隊災害対処演習 南海レスキュー01

域において中部方面隊が実施した「令和元年度方面隊災害対処演習」に参加した。

本訓練では、災害派遣準備から同準備完了までの一連の行動及び災害派遣担任区にある関係機関との共同訓練を実施した。

派遣準備においては、災害にか

かる資・器材、携行糧食及び燃料等多数の物品を整齊円滑、至短時間

に車両に積載・準備し、災害にか

かる初動の迅速性を向上させた。

また、共同訓練として、8高特群は、加西警察署及びNEXCO西日本との部隊進出訓練を実施し、



▲芦原士長による選手宣誓



▲中隊長チームによる担架搬送



▲ほふく前進

中部方面後方支援隊 総合体力競技会

圧巻の強さ 総合2連覇し

第302高射直接支援中隊は、1月29日、30日及び2月6日、桂駐屯地において中部方面後方支援隊が実施する「令和元年度総合体力競技会」に参加した。

競技内容は、約1kmの距離を6種目（担架搬送、バービー（※1）、ランジ（※2）、ハイポート（※3）、ほふく前進、ソフトボール投てき）実施して、全種目を規定通り行い最もタイムの早い部隊が勝者となるものであった。11個部隊が参加し、個人及び部隊の総合力が試される本競技会において、同中隊は平素から絶え間なく培ってきた練成成果を遺憾なく発揮し、見事総合優勝、同競技会2連覇を成し遂げた。



▲優勝中隊の302高直支中

競技結果

●部隊表彰

総合の部
1位 302高直支中
2位 中方輸送隊

●個人表彰

総合の部
1位 榊原1尉
2位 濱屋2曹
3位 榊原3曹
4位 田中士長
5位 本郷士長
10位 岡村3曹
陸士の部
1位 田中士長
女性自衛官の部
1位 河本2曹

(※1)バービー……立姿勢から腕立て伏せの姿勢をとり再度立姿勢に戻る一連の動作
(※2)ランジ……銃を頭上に保持し約60cmの幅を左右交互に足を踏み出す動作
(※3)ハイポート…胸の前で銃を保持した状態で駆け足すること

銃剣道競技会

第8高射特科群は、12月12日、「令和元年度群銃剣道競技会」を実施した。競技は、各中隊7名編成でのリーグ戦による団体戦で、実力が拮抗する中、中隊の名譽をかけ、熱戦を繰り広げた。

勝ち星が並ぶ接戦の末、勝ち本数でわずかに上回った第339高射中隊が優勝し、4年ぶりの王座奪還に中隊全員が歓喜した。

また、今大会を見学した駐屯地モニターからは、「競技者とそれを応援する者との一体感は、まさに『ワンチーム』だと感じた」という趣旨の感想が聞かれた。



▲応援者と競技者との一体感



▲中隊の名譽をかけた団体戦

競技結果

- 優勝●
339高中
- 準優勝●
308高搬通中

至近距離射撃競技会

第8高射特科群は、2月27日及び28日、久代基本射場において「令和元年度至近距離射撃競技会」を実施した。

競技会は25メートル先の的を射撃号令を受けてから規定時間内に射撃し、各中隊毎の平均得点によって争われた。隊員は厳格かつ緊張感で張り詰めた場内においても、冷静沈着迅速・正確に小銃を操作してその技術を競った。

競技結果

- 部隊表彰●
1位 343高中
2位 308高搬通中
- 個人表彰●
1位 343高中 佐々木士長
2位 308高搬通中 岸田 3 曹
3位 343高中 松田 3 曹



▲射撃姿勢を確認



▲至近距離射撃の様子

方面会計隊 会計実務競技会 （実力の差を見せつけ優勝）

第352会計隊青野原派遣隊は、11月9日、伊丹駐屯地において実施された「令和元年度方面会計隊会計実務競技会」に参加した。本競技会は会計科業務について、個人・部隊の識能が試され、幹部の部、陸曹の部、陸士の部からなり、5種目（主計・債権・契約・給与・旅費）を各会計隊及び個人が筆記試験方式で競った。

中部方面管内の全会計隊が参加する中、同隊は平素からの合否適正な業務によって培った実力を発揮し派遣隊の部・優勝を取めた。

丹波篠山市 西脇市 総合防災訓練

第8高射特科群は、1月19日、丹波篠山市福住地区において、「令和元年度丹波篠山市総合防災訓練」、2月9日、西脇中学校において、「令和元年度西脇市総合防災訓練」にそれぞれ参加した。



▲土砂災害からの人命救助(西脇市)



▲孤立集落住民の輸送(丹波篠山市)

群持続走競技会

第8高射特科群は、3月6日、青野原駐屯地において「令和元年度群持続走競技会」を実施した。

競技会は駐屯地内に設定したコースを全員で走り、平均点を競う個人走の部と各中隊選抜6名による継走の部によって行われた。

競技会当日は前日の荒れ模様から一転、青空広がる絶好のコンディションで、隊員は誰よりも前にゴールをするため、厳しい練成で鍛え上げた自己の実力を信じて苦しさに耐え、全力で走りきった。継走の部では各区分ごとに接戦が繰り広げられる中、ゴール寸前での競り合いがあるなど、選抜の名にふさわしい戦いが随所に見られた。



▲接戦を制した339高中

最前任上級曹長交代

2月25日付をもって第8高射特科群最前任上級曹長は交代となった。

前任の高松准尉は平成29年4月1日から約3年に渡り、曹士と幹部の架け橋として上意下達、下意上達を実施し群に所属する隊員の精強化にまい進した。

新たに上番した伊澤准尉は栃木県下野市出身で上番にあたり「やるべきこと、やらなければいけないことを手を抜かずに行うことができる陸曹団をみんなで作りたい」と述べ、決意を新たに示した。



▲上番した伊澤准尉(左)と下番した高松准尉(右)

競技結果

●部隊表彰		●個人表彰	
総合の部		10代から20代の部	
1位	339高中	1位	古賀 3 曹 (10分42秒)
2位	338高中	2位	宮川 2 尉 (10分43秒)
3位	338高中	3位	仲宗根 1 士 (10分43秒)
30代の部		30代の部	
1位	本管中	1位	井関 2 曹 (10分26秒)
2位	339高中	2位	蔵永 2 曹 (10分35秒)
3位	340高中	3位	上田 3 曹 (10分36秒)
40代の部		40代の部	
1位	338高中	1位	國島 2 曹 (10分31秒)
2位	339高中	2位	平林 3 佐 (10分41秒)
3位	340高中	3位	松田 1 尉 (11分00秒)
50代の部		50代の部	
1位	本管中	1位	永野 1 尉 (11分10秒)
2位	本管中	2位	前田 曹長 (11分54秒)
3位	338高中	3位	井上 1 尉 (13分07秒)
継走の部(区間賞)		継走の部(区間賞)	
1区	338高中	1区	大藪 3 曹 (9分41秒)
2区	339高中	2区	太田 2 曹 (9分45秒)
3区	338高中	3区	草野 2 曹 (9分27秒)
4区	339高中	4区	小野寺 2 曹 (10分10秒)
5区	338高中	5区	深谷 2 曹 (10分10秒)
女性自衛官の部		女性自衛官の部	
29歳未満		29歳未満	
1位	340高中	1位	牧村 1 士 (11分49秒)
30歳以上		30歳以上	
1位	本管中	1位	山崎 2 曹 (11分59秒)



▲個人走の部(激走を繰り広げる隊員)



▲女性自衛官の部(29歳未満)1位となった牧村1士

